

提言の全体イメージ

－わかりやすい案内標識の体系確立へ向けて－

I. 案内標識の3つの理念

1. ユーザー重視、顧客志向
2. システム・体系性の充実
3. 標識のマネジメント



II. 自動車系案内の方向性

1. 路線番号案内の充実
 - 1) 一般道路
全ての主要交差点標識に、交差する道路のルート番号を表示
 - 2) 高速道路
高速道路のナンバリングとその表示
分岐点における方角表示の検討
有料道路・無料道路の識別性の確保
 - 3) 混乱要因の除去
バイパス及び重複路線のわかりやすい表示
2. 地名案内の信頼性向上
 - 1) 表示ルールの徹底（乱れの点検と是正）
 - 2) ユーザーに対する周知
 - 3) 色分けによる識別性向上
3. 現在位置の同定性の向上
 - 1) 主要交差点名の表示の充実
 - 2) 地点標（キロポスト）の活用
 - 3) 「地域」の同定性の確保

III. 歩行者系案内の方向性

1. 情報提供の体系化
 - 1) 情報内容の整理
 - 2) 「指示」・「同定」の手段の充実
主要交差点名の表示の充実
その他の著名地点名の表示の充実
 - 3) 「図解」の手段の活用
地図を用いた案内標識
2. 地域の実態や利用者ニーズへの対応

IV. 新たな課題への対応

1. 国際化・観光客への対応
 - 1) 英語表記（2カ国語による統一性のある表記の徹底）
 - 2) ピクトグラム（ルールに基づいた表示）
2. 他メディアとの協力関係の構築
 - 1) 他メディアとの連携強化と適切な役割分担
 - 2) データベースの構築と共有化
3. 景観・視環境に対する配慮
 - 1) 必要最小限の表示
 - 2) デザイン・色彩に対する配慮
 - 3) 景観・歩行環境への配慮



V. 標識のマネジメント

1. マネジメント型の標識計画・管理
 - 1) 管理データベースによる現況把握
 - 2) 目標値と達成状況の把握・公表
 - 3) ユーザーとの接点の強化
2. 協働の枠組の構築
 - 1) マネジメントにもユーザー・地域の声～標識マネジメント会議
 - 2) 目標やシステムの不断の見直し